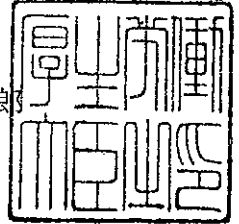


大

厚生労働省発食安第 0126001 号
平成 18 年 1 月 26 日

食品安全委員会
委員長 寺田 雅昭 殿

厚生労働大臣 川崎 二郎



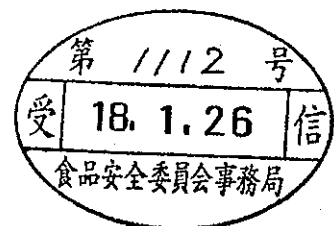
食品健康影響評価について

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第14号、食品安全委員会令（平成15年政令第273号）第1条第1項及び食品安全委員会令第1条第1項の内閣府令で定めるときを定める内閣府令（平成15年内閣府令第66号）第1号の規定に基づき、下記事項に係る食品安全基本法第11条第1項に規定する食品健康影響評価について、貴委員会の意見を求めます。

記

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づく「食品、添加物等の規格基準」（昭和34年厚生省告示第370号）の規定に基づき定められた「組換えDNA技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続」（平成12年厚生省告示第233号）第3条の規定に基づき、次に掲げる食品の安全性審査を行うこと。

申請者：ハワイパパイヤ産業協会
品 種：パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ 55-1 系統



パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ 55-1 系統の概要

項 目	概 要
品 種	パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ 55-1 系統
申請者	ハワイパパイヤ産業協会
開発者	コーネル大学、ハワイ大学、アップジョン社、 米国農務省研究機関/USDA
製品の概要	パパイヤにパパイヤリングスポットウイルス (PRSV) に由来する外被タンパク質 (CP) 遺伝子を導入することにより、転写後遺伝子サイレンシング (PTGS) メカニズムが働き、PRSV による病害を受けずに生育できる。
宿 主	パパイヤ (<i>Carica papaya</i> L.)
導入遺伝子 (供与体)	PRSV CP 遺伝子 (パパイヤリングスポットウイルス HA5-1 株由来)
選択マーカー (供与体)	<ul style="list-style-type: none"> ・カナマイシン耐性遺伝子 <i>nptII</i> (<i>Escherichia coli</i> トランスポゾン Tn5 由来) ・β-グルクロニダーゼ遺伝子 <i>uidA</i> (<i>Escherichia coli</i> プラスミド pUC19 由来)
新たに獲得された性質	パパイヤリングスポットウイルス抵抗性
可食部分に発現する遺伝子産物の発現量	果実の生組織重 1g あたり PRSV CP タンパク質： SunUp (親品種) 検出限界 (0.25 μg/g 生組織重) 以下 Rainbow (F1 交配品種) 6.3 μg